

景観まちづくりの取組状況

◆背 景

湖南省では、平成 24 年度から湖南省らしい景観を守り、次世代へ継承するとともに、美しい景観づくりを通して湖南省への愛着と誇りを醸成するため、市民、事業者、行政による協働の取組を進めています。

平成 25 年 4 月には、三者が目指すべき方向性を共有するために「湖南省景観づくりの基本方針」を作成し、多様な景観資源を有する湖南省の中でも、特に良好な景観形成を図る必要のある地区を重点地区候補地として位置づけています。

このことから、重点地区の候補地に対して景観意識の向上と「湖南省景観計画」における「重点地区」の指定を目指し、地域の個性や特色を活かしたまちづくりを促進するため、さまざまな取組を進めています。

重点地区の景観づくりの方針

重点地区の候補地区

東海道沿道

東海道の宿場などとして古くから街並みが形成された地域であり、今も伝統的な様式の家屋や名所・旧跡が残り、街道らしい雰囲気を感じられる
これまで受け継いできた固有の景観資源として、暮らしやすさの向上と合わせて景観の維持に取り組む

湖南三山
周辺

国宝湖南三山として知名度が向上し、年々参詣する人々が増えている
貴重な文化財の保全だけでなく周辺の山林や集落も合わせて良好な景観づくりを進め、一層の魅力向上、地域の活力維持に取り組む

野洲川及び
国道1号
バイパス周辺

市域の中央部にある広大で水と緑の潤い豊かなオープンスペースである野洲川、国土レベルの広域交通の一翼を担う国道1号バイパスにおいて、本市らしい良好な景観づくりに取り組む

◆重点地区候補地別説明会

候補地	開催日時	会場	参加者	対象地区
東海道沿道	平成 25 年 6 月 26 日 (水) 午後 7 時 30 分～	サンライフ甲西	12 人	三雲、石部 学区
湖南三山周辺	平成 25 年 6 月 25 日 (火) 午後 7 時 30 分～	石部南まちづくりセンター	4 人	石部南学区 全域
	平成 25 年 7 月 10 日 (水) 午後 7 時 30 分～	サンライフ甲西	10 人	岩根学区全 域
野洲川及び 国道 1 号 バイパス周辺	平成 25 年 7 月 25 日 (木) 午後 7 時 30 分～	菩提寺まちづくりセンター	7 人	菩提寺学区 全域

◆東海道沿道候補地にかかる説明会

開催日時	参加者	協議会名	対象者
平成 25 年 6 月 13 日 (木) 午後 7 時～午後 8 時 30 分	17 名	三雲学区まちづくり協議会	まち協役員、 区長
平成 25 年 7 月 29 日 (月) 午後 7 時～午後 8 時	13 名		
平成 25 年 8 月 28 日 (水) 午後 7 時～午後 8 時 30 分	14 名		
平成 25 年 9 月 18 日 (水) 午後 7 時～午後 8 時 30 分	6 名		
平成 25 年 6 月 5 日 (水) 午後 7 時～午後 8 時 30 分	10 名	石部学区まちづくり協議会	まち協役員、 区長
平成 25 年 7 月 9 日 (火) 午後 7 時～午後 7 時 40 分	7 名		

◆三雲学区地域における景観まちづくり

東海道は線の景観として連続的な景観誘導が必要なことから、三雲まちづくり協議会と協働で「東海道沿道景観まちづくり」を進めることとし、協議会の活動である「東海道を歩き交う人々におもてなし活動」を軸に、活動の拡大とおもてなしの視点における景観誘導についてワークショップで意見を吸い上げ、今後の取組につなげていきたいと考えています。

① 東海道沿道に関する住民アンケートの実施（平成 25 年 10 月 15 日～31 日）

市とまちづくり協議会が協働で「東海道沿道景観まちづくり」を進めるにあたり地域住民の意向を把握することを目的にアンケートを実施しました。

9 区の住民 200 人を対象に、現在の東海道の街なみとおもてなし活動に対する評価について調査を行いました。

② 沿道区民対象の説明会の実施

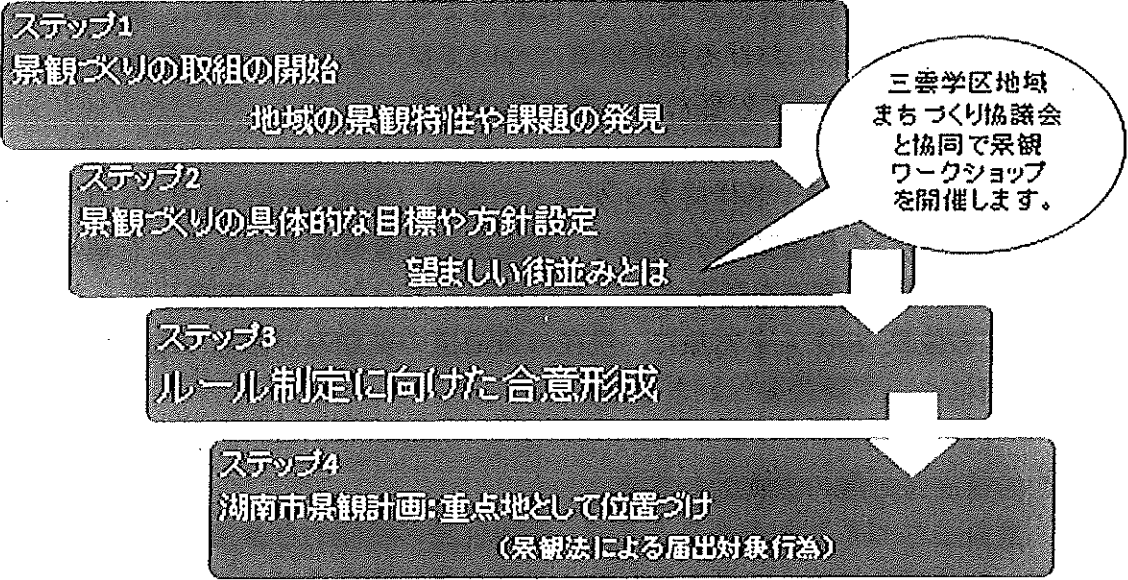
景観まちづくりを進めるうえで、地域住民の積極的な参加が不可欠となるため、沿道区民に対して基本方針および重点地区指定までのステップについて説明を行いました。

開催日時	会場	参加者	対象
平成 25 年 11 月 20 日（水） 午後 8 時 30 分～	柑子袋公民館	29 人	区役員
平成 25 年 12 月 7 日（土） 午後 7 時～	平松草の根ハウス	25 人	区役員
平成 25 年 12 月 14 日（土） 午後 7 時 30 分～	針公民館	18 人	区役員 沿道住民
平成 25 年 12 月 15 日（日） 午後 7 時 30 分～	吉永公民館	24 名	区役員 沿道住民
平成 26 年 1 月 19 日（日） 午後 4 時 30 分～	みくも地域人権福祉市民交流センター	32 名	区役員
平成 26 年 1 月 25 日（土） 午後 7 時 30 分～	夏見公民館	37 名	区役員 沿道住民



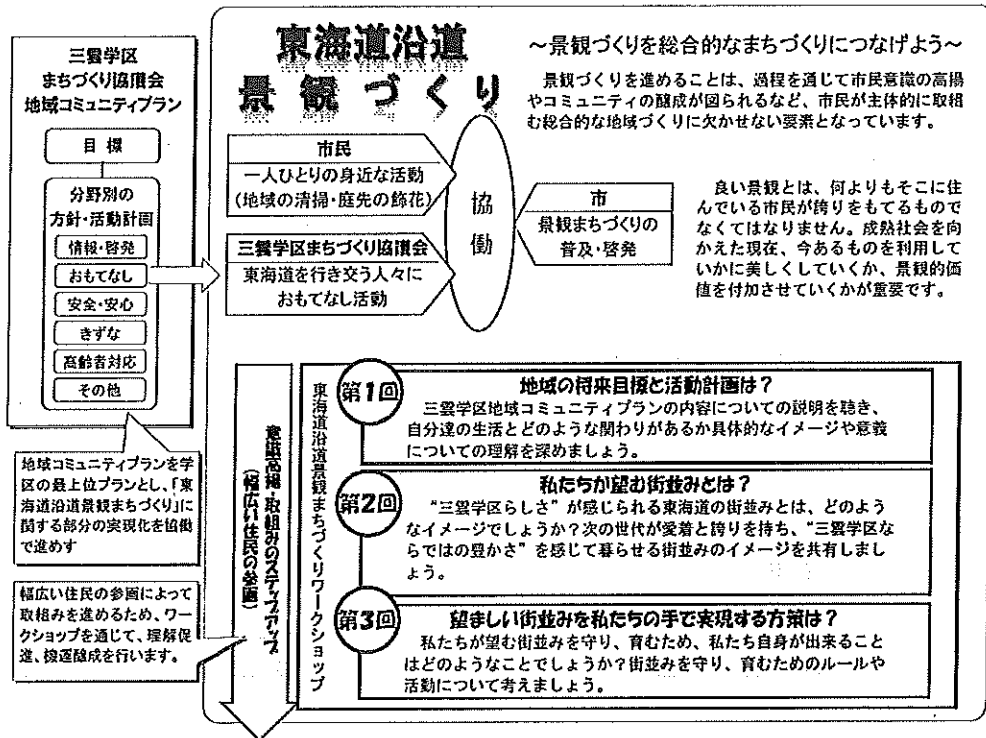
地域で進める景観まちづくり

市と協働で進める地域の实情に応じた仕組みづくり



13

※各区では、生活課題である東海道の安全対策や空き家対策等についての意見が大半を占めました。今後のワークショップでは、生活課題の解決に繋げる取組の検討もテーマとしてあげていきたいと考えています。



◆湖南三山周辺候補地にかかる説明会

	開催日時	会場	参加者	対象
東寺	平成 25 年 7 月 5 日 (金) 午後 7 時 30 分～	東寺多目的集会場	17 人	東寺区役員
	平成 25 年 9 月 6 日 (金) 午後 7 時 30 分～	東寺多目的集会場	8 人	ワークショップ メンバー
西寺	平成 25 年 7 月 13 日 (土) 午後 7 時 30 分～	西寺集会場	8 人	西寺区役員
岩根東 岩根西	平成 25 年 8 月 22 日 (木) 午前 9 時 30 分～	岩根まちづくりセンター	4 人	まち協会長 岩根学区区長
	平成 25 年 11 月 9 日 (土) 午前 7 時 30 分～	岩根まちづくりセンター	44 人	岩根西区役員 岩根東区役員

◆湖南三山周辺 東寺地区における景観まちづくり

東寺の風情豊かで心地よい景観を今後とも守り育てることを通じて、地域への愛着や誇りの醸成、活力の維持に結び付けていくための方法を考える集まりとして、11名の東寺住民が「将来に残したい東寺の大切な風景」「どのようにすれば東寺らしいふるさと景観を残せるのか」等について意見交換する場を「東寺景観ワークショップ」として開催しました。

① 第1回東寺景観ワークショップ（平成25年9月27日）

～東寺の宝を見直そう！ふるさとを未来に伝えよう！～と題して東寺の良いところや次世代に伝えたいところなどについて話し合いました。

当地域が市街化調整区域であり市街化が抑制させているにもかかわらず、景観法による制限をかけることへの不満がありました。また、既に集落環境の維持に取り組んでおり、このような取組を行わなくても、「東寺の景観を壊す者はいない」との思いから、具体的な景観誘導に繋がる意見は、ほとんど吸い上げられませんでした。ただ参加者からは、景観法による景観形成基準（制限）に対する不満や負担感はあるものの、地域に愛着もあり、次世代の定着を望む思いは伝わってきました。

② 東寺景観づくりアンケートの実施（平成25年11月17日）

湖南三山として長寿寺を参詣する人々に対し、長寿寺の周辺（東寺の里山集落）を含めた景観についてアンケートを実施しました。

307名の協力を得ることができ、現風景の評価と今後さらに魅力向上させるために必要なことなどについて調査を行いました。

③ 第2回東寺景観ワークショップ（平成25年11月29日）

第1回景観ワークショップで出た意見をもとに、～東寺における現在のルールについて～と題して参加者と各法令に於ける現行のルールについて共通認識を図り、他市での景観形成基準を例にどのような基準であれば東寺にマッチするのか意見交換を行いました。

参加者からは、今は景観形成基準を検討するのではなく、「調和を乱さない気持ち」や「地域の良さを大切にすること」の育成が大切であるなど取組を交えてじっくり進めて行きたいや、景観の取組を行うことで幅広い住民の意見を吸い上げる必要があるなどの意見がでました。

④ 第3回東寺景観ワークショップ（平成26年1月19日）

第2回景観ワークショップで出た意見～調和を乱さない気持ちを大切にしよう～をテーマに最近の建物の事例写真をもとに、東寺に調和するか、東寺らしい家の建て方とはどのようなものかについて意見交換を行いました。

参加者からは、「東寺になじむ家と個人的に良い（住みたい）と思う家は違う」や、「個人的にはなじまないと思っても息子が同居するためにハウスメーカーの家を建てたいと言え拒まない」など素直な意見がでました。

⑤ 景観づくり懇談会「東寺の風景」（平成26年2月23日）

3回に渡り「東寺景観ワークショップ」の報告を区長から区民に行い、景観づくりに対する認識の共有化を図りました。

また、区民の景観意識の向上と今後の取組に対する参考とするため、滋賀県の協力を得て景観づくりの専門家である谷口教授をお招きして～景観資源を活かしたまちづくり～と題し講演会を行いました。 びわこ学院大学